

※この連載では、政策ビジョン研究センターが現在最も重要視しているトピックスを中心に、そのときどきのホットニュースを、当センターの取り組みの様子、活動状況などと共にご紹介していきます。

テクノロジーアセスメント、市民後見、地域医療情報

より実証的な俯瞰研究を目指して

政策ビジョン研究センターでは、これまで9つの研究ユニットを設けてきましたが、さらに新たな枠組みとして、テクノロジーアセスメント、市民後見、地域医療情報に関する3つの研究実証プロジェクトを加えました。これらは各フィールドでの具体的試みに基づき、より実証的に研究を進めていくプロジェクトとして研究が始まっています。



城山 英明教授（センター長）

今回は当センターとして初めて、上記3つの研究実証プロジェクトを含む、複数の研究分野のメンバーを集め、俯瞰的に今後の研究課題を発見するための戦略ワークショップを開催しました。テーマは健康・医療政策関連とし、当センターが力を入れて取り組んできた高齢社会の諸課題について、分野横断的に多角的に考える機会ともなりました。

ボトムアップの異分野交流を議論に当たっては、はじめから各研究テーマの要素に絞った議論を行うよりも、それぞれの研究分野を俯瞰的に把握することを目指しました。これにより何が面白い課題か、何が論点として有効かを見出す契機となりました。トップダウンでの制度改革や社会への適用を考えるより、ボトムアップで要素を組み合わせることで統合的に議論する試みとして、今後とも継続していく予定です。

ボトムアップの異分野交流を

議論に当たっては、はじめから各研究テーマの要素に絞った議論を行うよりも、それぞれの研究分野を俯瞰的に把握することを目指しました。これにより何が面白い課題か、何が論点として有効かを見出す契機となりました。トップダウンでの制度改革や社会への適用を考えるより、ボトムアップで要素を組み合わせることで統合的に議論する試みとして、今後とも継続していく予定です。



左から、武藤芳照教授（理事・副学長）、秋山昌範教授

第1部では、ヘルス・テクノロジーアセスメント（HTA）の諸課題について、医療および医療機器の分野から報告がありました。各地域のニーズや特質を踏まえて、医療技術

の社会導入を検討し意思決定するための有用なツールでありながら、これまで日本では十分に活用されてこなかったHTAについて、導入の背景や実務への影響が述べられました。

第2部では、今年から政策に関する研究を開始する市民後見に関する報告がありました。判断能力が不十分な人々の身上監護等の役割が期待される市民後見について、養成講座としての活動実績および現場での経験を踏まえた展望が述べられました。また転倒予防など、高齢者教育を分野横断的に実践してきたエッセンスについて報告がありました。

第3部では、地域医療の現場でICTを活用し、全数データを網羅的に収集することで、サンプリングバイアスのない客観的分析が可能になるとの報告がありました。また、収集した情報をフィルタリングにより自動的に精査する技術の提案がありました。これらの技術は合意形成において複数の価値観を統合的に判断するのに有効である一方、その前提として、判断基準は協議で予め決めておくこ



左から、Lennart Stenberg 氏、小野太一教授

とが望ましいことが確認されました。

第4部では医療番号による患者情報のデータ管理が進んでいるスウェーデンから、登録制度やそうした制度を活用した医薬品開発など臨床研究に関する報告がありました。

第5部では、これまでの個別要素に関する研究報告を基礎に、一般的な枠組みとしての日本の医療制度の課題について議論しました。国際比較に基づく医療制度のモデル化に基づいた議論がありました。また、地域を包括した医療・介護システムを実現するための、医療と介護の一体的運用および複数疾病間の連携が論じられました。

戦略ワークショップ

健康・医療政策関連

全体構成

城山英明 政策ビジョン研究センター長

第1部 テクノロジーアセスメント

医療分野におけるTA 畑中綾子 特任研究員

ヘルス・テクノロジーアセスメントの展望と課題
 医療機器を中心に 佐藤智晶 特任助教

第2部 市民後見と高齢者教育

市民後見制度について 宮内康二 特任助教

認知症とヘルスコミュニケーション
 大西丈二 特任講師

高齢者教育（転倒防止等）
 高齢者の転倒予防 武藤芳照 理事・副学長
 政策ビジョン研究センター教授 兼任教員

テクノロジーアセスメントの枠組み
 吉澤剛 特任講師

第3部 地域医療とICT

高齢化社会を迎えた保険医療福祉分野における
 ICT利活用 秋山昌範 教授

単語の共起情報を用いた情報フィルタリング
 伊藤孝行 准教授（名古屋工業大学大学院）

ICTを用いた医療行為プロセスの可視化と解析
 秋山昌範 教授

第4部 スウェーデンの医療システム

日本のヘルステクノロジーアセスメントへの期待
 林良造 客員教授

スウェーデンのヘルスシステムイノベーション政策
 Lennart Stenberg 氏 イノベーションシステム庁

スウェーデンの医薬品開発及び承認システム
 橋本せつ子 氏 スウェーデン大使館 科学技術部
 プログラムマネージャー

第5部 制度的課題

日本の医療制度の現状と課題

飯間敏弘 特任研究員

日本の医療政策の課題 小野太一 教授

総括コメント

坂田一郎 教授、城山英明 教授

●日時：4月8日（金） 9:00～18:30

●場所：経済学研究科学術交流棟